

1. 水道事業の経営状況について

水道事業の経営状況についてご説明するために、平成 28 年度阿見町水道事業決算見込によりご説明いたします。

なお、水道事業決算には皆様に馴染みのない用語を用いておりますので、皆様にわかりやすく説明の上、ご理解いただくために、一般家庭の家計に例えてみました。(表 1-1 参照願います)

家計の金額は、平成 28 年阿見町水道事業決算見込金額の 1/100 スケール表示となります。

収入は世帯主の収入 923 万円(給水収益の水道料金)を中心に、雑収入(加入分担金・工事負担金、その他雑収益)325 万円や新たなローン(企業債)200 万円を含めて、合計 1,448 万円となります。

支出は生活費(県から浄水を購入する費用の「受水費」、配水・浄水施設に係る電気代・燃料代などの「動力費」、施設の修繕費用など)648 万円のほかにローン返済(企業債元金・利息返済)49 万円、自家用車・家電品の購入(施設整備、新設など)などに 614 万円、財形貯蓄(減価償却費など)277 万円を含め、合計 1,588 万円となります。

支出に対する収入不足額は「収入 1,448 万円－支出 1,588 万円＝**△140 万円**」となります。

現在の世帯収入では生活費の他ににかかる自家用車・家電品などの購入に伴う支出を賄いきれず、購入資金の不足分を補うため、新たにローンを組みました。

なお、家計の赤字(収支不足額) **△140 万円**はこれまでの貯金(積立金)を取り崩して補てんしております。

表1-1 水道事業決算を家計に例えた場合(平成28年度決算見込)

	家計に例えた場合		水道事業		
	項目	金額 (万円)	金額 (千円)	項目	
収入	①世帯主の収入		923	923,158	給水収益(水道料金)
	②雑収入(パートなど)		325	324,739	加入分担金、工事負担金、その他の収入
	③新たなローン		200	200,000	借入金(企業債)
	④合計 ①+②+③		1,448	1,447,897	
支出	⑤生活費	食費	302	302,489	受水費
		光熱費・日用品の購入・家の修繕など	346	345,780	動力費や修繕費用など
	⑥ローン返済		49	48,725	借入金の元金、利息の返済
	⑦自家用車、家電品の購入など		614	613,844	施設の整備・改良などに要する経費
	⑧財形貯蓄		277	276,756	減価償却費など
	⑨合計 ⑤+⑥+⑦+⑧		1,588	1,587,594	
収入と支出の差	⑩収入不足 (これまでの貯金からの取り崩し) ④-⑨		-140	-139,697	これまでの積立金からの取り崩し

図 1-1 水道事業決算を家計に例えた場合の収入と支出の内訳(平成 28 年度決算見込)

